M1

User's Guide

ASK Proxima®

適合性の宣言

製造元 : InFocus Corporation, 27700B SW Parkway Ave. Wilsonville, Oregon 97070 USA

ヨーロッパ支社 : Strawinskylaan 585, 1077 XX Amsterdam, The Netherlands

InFocus では、このプロジェクタが次の条項および基準に適合していることを保証します。

EMC Directive 89/336/EEC, Amended by 93/68/EEC
EMC: EN 55022
EN 55024
EN 61000-3-2
EN 61000-3-3
低電圧条項 73/23/EEC, Amended by 93/68/EEC
安全性 : EN 60950: 2000

2003 年 6 月

商標

Apple、Macintosh、PowerBook は、Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。IBM は、International Business Machines, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。InFocus、ProjectorNet、LP は、InFocus Corporation の商標および登録商標です。

FCC 警告

この機器は、FFC 規則の 15 条に準拠したクラス A デジタルデバイスの制限に適合していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、機器を商業環境で操作した場合に、害のある干渉に対する妥当な保護が提供されるようにデザインされています。この機器は、ラジオ周波数エネルギーを生成、使用、および放射します。マニュアルの指示通りに設置し、使用しなかった場合は、ラジオ通信に害を及ぼす干渉が発生する場合があります。この機器を住宅地域で操作すると、ユーザーの責任で修正が必要となる害のある干渉を引き起こす可能性があります。

カナダ

このクラス A デジタル機器は、Canadian ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

リモートコントロールの警告

レーザー放射クラス II 製品。波長 650nm、最大出力 1mW。リモートコントロールは、21 CFR 1040.10 および 1040.11 の適用可能な条件に適合しています。リモートコントロールは、EN 60 825-1: 1994 +A11 の適用可能な条件に適合しています。

リモートコントロールの前部から
放射されるレーザー光を直視しないでください。

目次

はじめに 5

コンピュータへの接続 6
必要なコンピュータ接続 6
コンピュータイメージの表示 7
Windows 98 で最初にプロジェクタを使用する場合 8
イメージの調節 10

ビデオデバイスの接続 11
ビデオイメージの表示 12

プロジェクタのシャットダウン 14

セットアップのトラブルシューティング 14

キーパッドボタンの使用 22
リモートコントロールの使い方 23
オーディオの使い方 24

コンピュータイメージの最適化 25
プレゼンテーション機能 25
ビデオ イメージの最適化 26
プロジェクタのカスタマイズ 26

メニューの使い方 27
[画像] メニュー 28
[設定] メニュー 31

保守 34
レンズのクリーニング 34
投影ランプの交換 35

付録 37
アクセサリ 37
赤い LED とプロジェクタのエラー 38
投影イメージサイズ 38

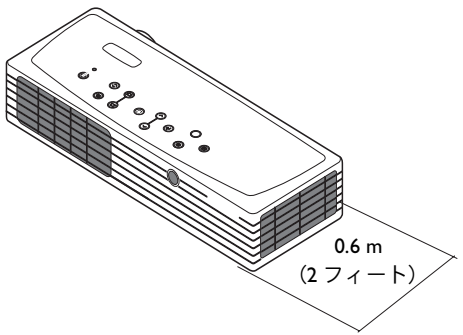
プレゼンテーションシステムのセットアップに慣れているユーザの方は、付属の*クイックセットアップカード*を使用してください。プロジェクタの接続および操作について詳しくは、このユーザーズガイドを参照してください。このユーザーズガイドの多言語による電子ファイルバージョンが付属の CD に収録されています。または、InFocus のウェブサイトからダウンロードしていただくこともできます。

InFocus のウェブサイトには、技術仕様（インタラクティブ画像サイズ計算器、ノートブック表示開始コマンド、コネクタピンの配列、用語集、製品のデータシードなど）、アクセサリを購入できるウェブストア、オンライン登録ページなどがあります。連絡先情報および関連するウェブサイトのアドレスについては、裏表紙の内側をご覧ください。

操作に関する重要な情報

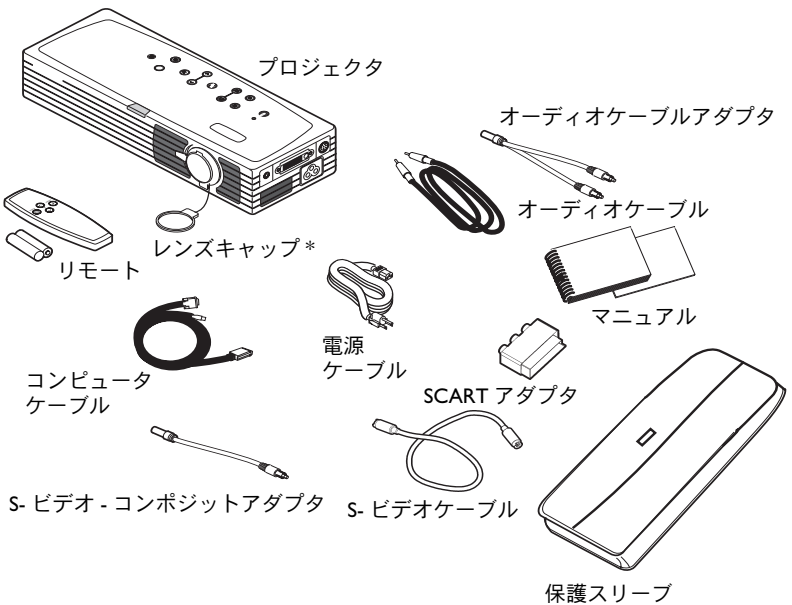
テーブルクロスや通気口を塞ぐ可能性のある柔らかい布の上にプロジェクタを置かないでください。通気口は、プロジェクタの左面、前面、背面にあります。排気口は、プロジェクタの右側一面にあります。ランプが破損することは稀ですが、万が一破裂した場合を考慮して、プロジェクタの周りに食べ物を置かないようにしてください。

プロジェクタの右側の領域に物を置かないでください。



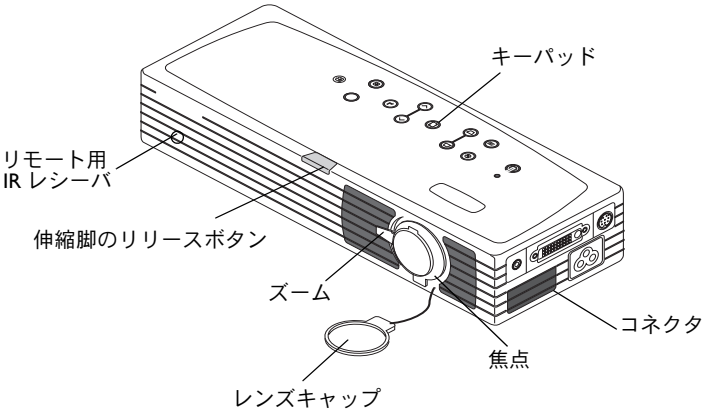
はじめに

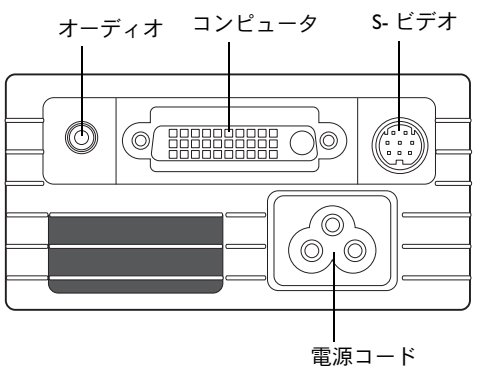
このデジタルプロジェクタは、移動に最適な形状とサイズを持ち、場所を選ばずに優れたパフォーマンスを提供します。プロジェクタは、ノートブックの収納バッグにも納まり、簡単に持ち運んでプレゼンテーションを行うことができます。さらに、接続、使用、および保守が簡単に行えます。



* ひも付きのレンズキャップがアクセサリバッグに収納されています。プロジェクタを受け取ったときに、このひもをレンズの下にある小さい穴に取り付けてください。

プロジェクタのコンポーネントと機能



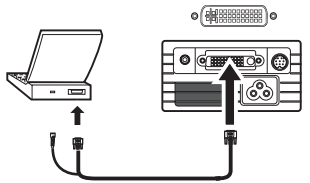


コンピュータへの接続

必要なコンピュータ接続

コンピュータケーブルの黒い端をプロジェクタの **Computer in** コネクタに接続します。青い端をコンピュータのビデオポートに接続します。デスクトップコンピュータを使用している場合は、まずコンピュータのビデオポートからモニタケーブルを取り外してください。

コンピュータケーブルを接続

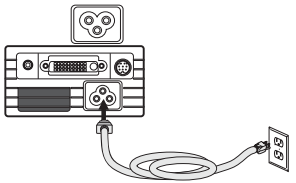


黒い電源ケーブルをプロジェクタの側面に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

プロジェクタのキーパッドにある電源 LED が緑色に点灯し、ファンが回転します。

注意 : 必ずプロジェクタに付属している電源ケーブルを使用してください。

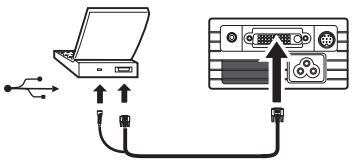
電源コードを接続



オプションのコンピュータ接続

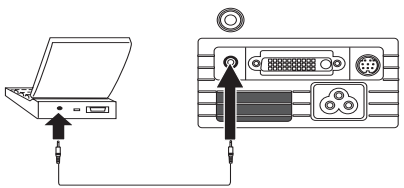
リモートを使って PowerPoint™ プレゼンテーションでスライドを進めるには、コンピュータケーブルの USB コネクタをコンピュータの USB マウスコネクタに差し込みます。USB 機能を使用するには、USB ドライバをインストールしなければなりません。詳しくは、9 ページを参照してください。

コンピュータケーブルの
USB 部分を接続



プレゼンテーションでサウンドを使用する場合は、オーディオケーブルをコンピュータおよびプロジェクタの **Audio In** コネクタに接続します。

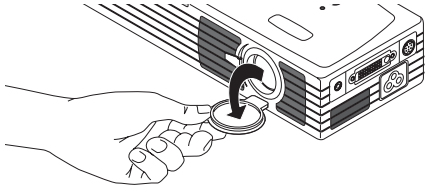
オーディオケーブルを接続



コンピュータイメージの表示

レンズキャップを取り外します。

レンズキャップを外す

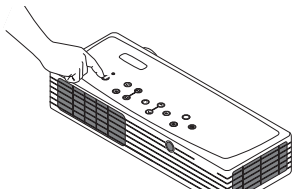


プロジェクタの上部にある **Power** ボタンを押します。

LED が緑色に点滅します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。

? 起動画面が表示されない場合 : 15 ページを参照してください。

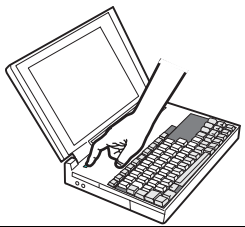
Power を押す



コンピュータの電源を入れます。

コンピュータのイメージがプロジェクタの画面に表示されるはずです。画面が表示されない場合は、プロジェクタのキーパッドで **Source** ボタンを押します。

コンピュータの電源をオンにする

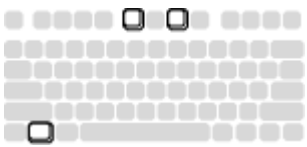


ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがアクティブになっていることを確認してください。

プロジェクタを接続しても、多くのノートブックコンピュータの外部ビデオポートは自動的にアクティブにはなりません。コンピュータに特有のビデオポートをアクティブにするコマンドについては、コンピュータのマニュアルを参照してください。たとえば、ノートブックによっては FN + F5 のキー操作で外部ディスプレイのオンとオフを切り替えます。

? コンピュータのイメージが表示されない場合 : キーパッドの **Auto Image** ボタンを押してみてください。16 ページを参照してください。

ノートブックの外部ポートをアクティブにする



auto image

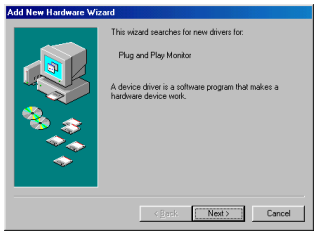
Windows 98 で最初にプロジェクタを使用する場合

Windows 98 を実行しているコンピュータにプロジェクタを最初に接続すると、コンピュータがプロジェクタを「新しいハードウェア」として認識し、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが表示されます。このウィザードを使って Windows オペレーティングシステムにインストールされているドライバから正しいドライバを読み込むには、画面に表示される指示に従います。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP を実行している場合は、これらの手順をスキップして 10 ページページの「イメージの調整」に進んでください。

a [次へ] をクリックしてドライバの検索を開始します。

a

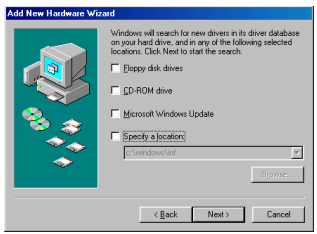


b [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] が選択されていることを確認してください。それから、[次へ] をクリックします。

b

c チェックボックスの選択をすべて解除して [次へ] をクリックします。Windows が自動的にドライバを見つけます。このドライバが削除されている場合は、Windows のオペレーティングシステム CD を使ってドライバを再度読み込んでください。

c



d Windows がドライバを見つけたら、ドライバをインストールする準備が整います。[次へ] をクリックします。

d

コンピュータケーブルの USB 部分を接続しなかった場合は、このページをスキップしてください。

Windows 98 の場合 :

- USB ケーブルを接続した場合は、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが再度表示されます。USB 機能を使用するには、ドライバをインストールしなければなりません。
- **ウィザードは次のように 3 回起動されます。**

  最初は、USB コンポジットデバイスを検出します。

  2 回目は USB ヒューマンインターフェイスデバイス（キーボード用）を検出します。

  3 回目は USB ヒューマンインターフェイスデバイス（マウス用）を検出します。

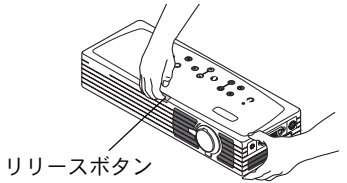
Windows 2000、Windows ME、Windows XP の場合 :

- USB ドライバは自動的にインストールされます。

イメージの調節

必要ならば、リリースボタンを押して伸縮脚を伸ばし、プロジェクタの高さを調節します。

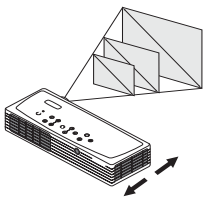
高さの調節



プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離した位置に設置します。

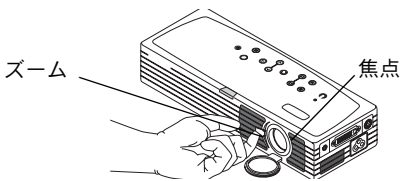
スクリーンのサイズと距離のリストには、38 ページを参照してください。

距離の調節



タブを使ってズームまたはダイアルを使って焦点を調整します。この場合、イメージのサイズと鮮明度が最良になるまでタブまたはダイアルを回します。

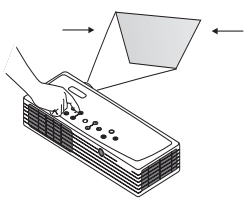
ズームおよび焦点の調節



イメージが正方形でない場合は、キーパッドのボタンを使ってキーストーンを調節します。

上の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの上部サイズを小さくできます。下の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの下部サイズを小さくできます。

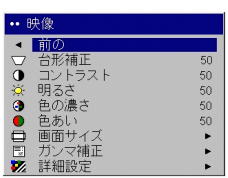
キーストーンの調節



[画像] メニューで [コントラスト] または [明るさ] を調節します。

メニューのヘルプは 27 ページを参照してください。

コントラストまたは明るさの調節



ビデオデバイスの接続

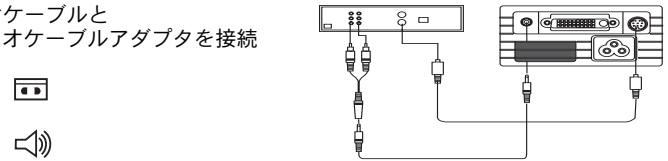
標準のビデオ接続

S- ビデオケーブルコネクタをビデオデバイスの S- ビデオ出力コネクタに差し込みます。もう一方のコネクタをプロジェクタの **S-Video** コネクタに差し込みます。

オーディオアダプタの白いコネクタをビデオデバイスの左のオーディオ出力コネクタに、赤いコネクタをビデオデバイスの右のオーディオ出力コネクタに差し込みます。

オーディオケーブルをオーディオケーブルアダプタのもう一方の端とプロジェクタの **audio in** コネクタに差し込みます。

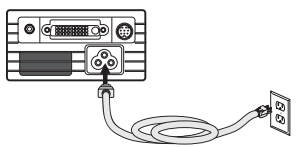
S- ビデオケーブルと
オーディオケーブルアダプタを接続



黒い電源ケーブルをプロジェクタの側面に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。キーパッドにある電源 LED が緑色に点灯し、ファンが回転します。

注意 : 必ずプロジェクタに付属している電源ケーブルを使用してください。

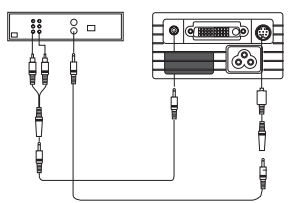
電源コードを接続



オプションのビデオ接続

ビデオデバイスでコンポジットビデオコネクタを使用している場合は、コンポジットビデオケーブル（別売り）をビデオデバイスのコンポジットコネクタと S- ビデオアダプタに差し込みます。S- ビデオアダプタをプロジェクタの **S-video** コネクタに差し込みます。オーディオケーブルを上記のように使用します。

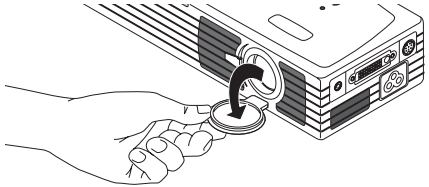
コンポジットビデオケーブル、アダプタ、
オーディオケーブル、アダプタを接続



ビデオイメージの表示

レンズキャップを取り外します。

レンズキャップを外す

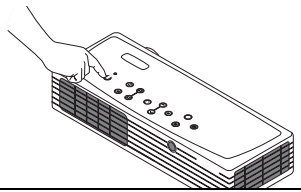


プロジェクタの上部にある **Power** ボタンを押します。

LED が緑色に点滅します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。

? 起動画面が表示されない場合 : 15 ページを参照してください。

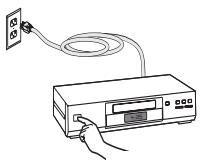
Power を押す

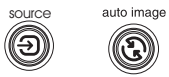


ビデオデバイスを接続して電源を入れます。

? ビデオイメージが表示されない場合 : キーパッドの **Source** または **Auto Image**ボタンを押してみてください。15 ページを参照してください。

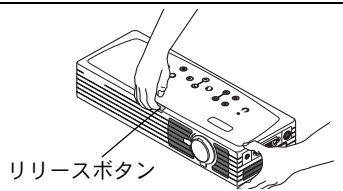
ビデオデバイスの電源を入れる





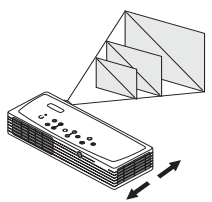
リリースボタンを押して伸縮脚を伸ばし、プロジェクタの高さを調節します。

高さの調節



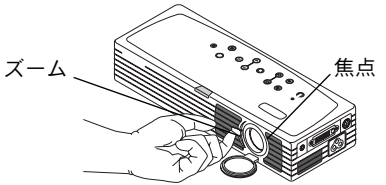
プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離した位置に設置します。スクリーンのサイズと距離のリストには、38 ページを参照してください。

距離の調節



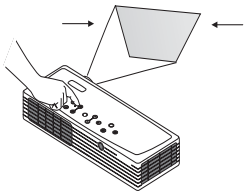
タブを使ってズームまたはダイアルを使って焦点を調整します。この場合、イメージのサイズと鮮明度が最良になるまでタブまたはダイアルを回します。

ズームおよび焦点の調節



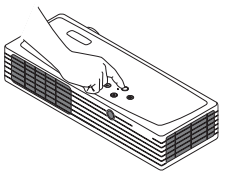
イメージが正方形でない場合は、キーパッドのボタンを使ってキーストーンを調節します。上の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの上部サイズを小さくできます。下の **Keystone** ボタンを押すと、イメージの下部サイズを小さくできます。

キーストーンの調節



キーパッドで音量を調節します。

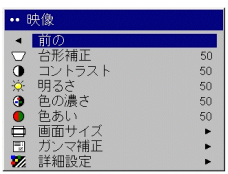
音量の調節



[画像] メニューで [**コントラスト**]、[**明るさ**]、[**色**]、[**色合い**] を調節します。

メニューのヘルプは 27 ページを参照してください。

画像メニューの調節



プロジェクタのシャットダウン

デフォルトでは、30 分間アクティブなソースが検出されないと、プロジェクタが自動的に黒い画面を表示します。この黒い画面により、プロジェクタの寿命が延びます。アクティブなソースが検出されるか、リモートコントロールかキーパッドのボタンを押すとイメージが再度表示されます。

スクリーンセーバー

[設定] > [システム] メニューを使って、黒い画面を表示するまでの時間を変更できます。32 ページを参照してください。5 分～ 30 分の範囲で 5 分間隔の 6 つのオプションを選択できます。

節電

プロジェクタには、信号が 20 分間検出されなかった場合にプロジェクタのランプを自動的にオフにする節電機能も付属しています。この機能は、使用可能にする必要があります。さらに 10 分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクタの電源が切れます。プロジェクタの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。30 分経過した後にイメージを表示するには電源ボタンを押してください。節電機能が使用可能になっている場合は、スクリーン セーバーは使用不可になります。31 ページを参照してください。

プロジェクタの電源オフ

プロジェクタの電源を切るには、**power** ボタンを押して再度電源ボタンを 3 秒間押して電源が切れたことを確認します。2 回目に **power** ボタンを押さなかった場合は、シャットダウンをキャンセルできます。ランプがオフになり、LED が 1 分間緑色に点滅します。ランプが冷えたら、LED が緑色に点灯します。電源ケーブルを取り外しプロジェクタの電源を完全に切ります。

セットアップのトラブルシューティング

画面にイメージが正しく表示される場合は、次のセクション（23 ページ）に進んでください。イメージが正しく表示されない場合は、セットアップのトラブルシュートを行います。

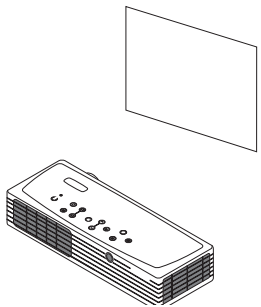
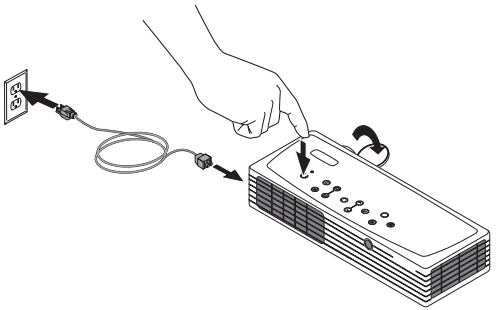
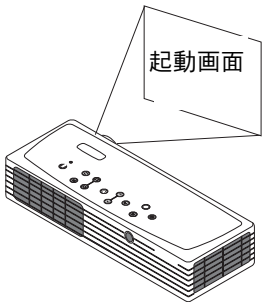
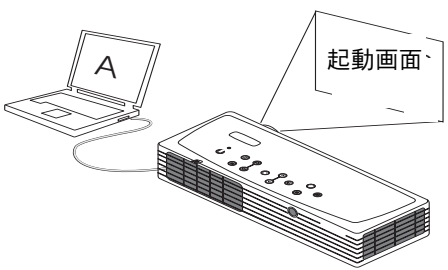
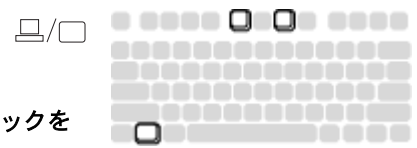
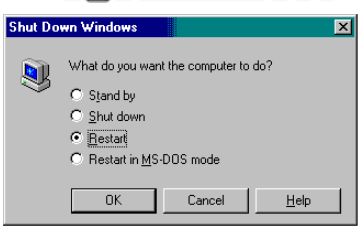
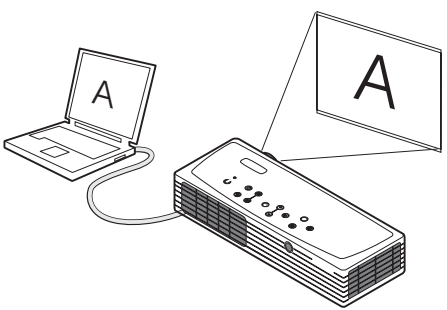
プロジェクタのキーパッド上部にある LED は、プロジェクタの状態を示しトラブルシュートに役立ちます。

表 1: LED の動作と意味

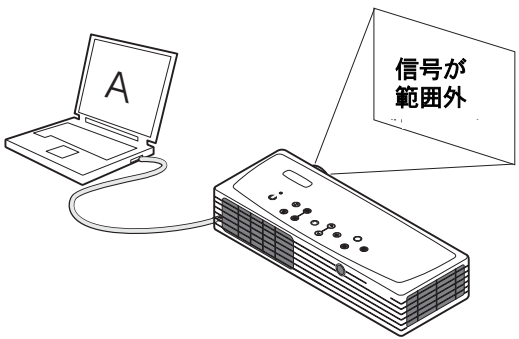
LED の色 / 動作	意味
緑に点灯	プロジェクタに電源コードを差し込み電源プラグをコンセントに差し込むか、プロジェクタの電源をオンにしてソフトウェアが初期化されたか、プロジェクタの電源がオフにされました。
緑に点滅	power ボタンを押したか、ソフトウェアが初期化されているか、プロジェクタの電源がダウンしています。
赤に点滅 詳しくは、38 ページを参照してください。	ファンまたはランプが故障しています。通気口が塞がれていないかどうかを確認してください（20 ページを参照）。プロジェクタをオフにし、1 分間待機してから、再度電源をオンにしてください。「ランプの変更」メッセージが表示されたら、ランプを交換してランプタイマーをリセットします。問題が解決できない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。
赤に点灯	識別できないエラー : テクニカルサポートにお問い合わせください。

次の表に一般的な問題を示します。解決法が複数記載されている場合があります。記載されている順番に解決法を試してください。問題が解決された場合は、残りの解決法は無視してください。

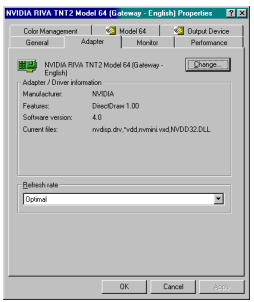
ソースのトラブルシューティング

問題	解決法	結果
起動画面が表示されない 	電源ケーブルを差し込み、power ボタンを押します。レンズキャップを外します。 	正しいイメージ 
起動画面のみが表示される 	Source ボタンを押します。 ノートブックの外部ポートをアクティブにします。  または ノートブックを再起動します。 	コンピュータのイメージが表示されます。 

コンピュータのイメージが表示されず、「信号が範囲外です。」というメッセージのみが表示される。

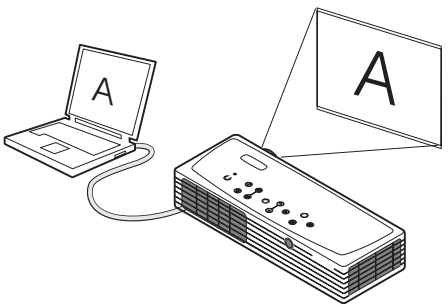


[コントロールパネル] > [画面] > [設定] > [詳細]> [アダプタ] でコンピュータのリフレッシュレートを調整します（オペレーティング システムによって場所が異なります）。

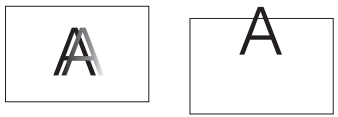


次ページの「イメージが不鮮明または途中で切れる」ような問題が発生する場合は、解像度を変更します。

コンピュータのイメージが表示されます。

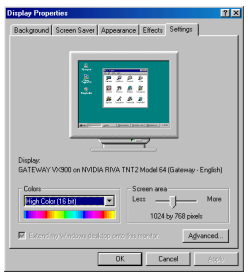


イメージが ぼやけているまたは表示されない部分がある



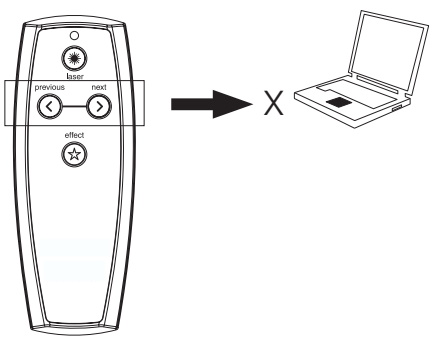
コンピュータのディスプレイ解像度をプロジェクタのネイティブ解像度に設定します（[スタート]>[コントロールパネル]> [画面]>[設定]> タブ）。

ノートブックコンピュータでは、モニタを無効にするか、デュアルディスプレイモードをオンにします。

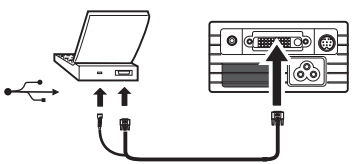


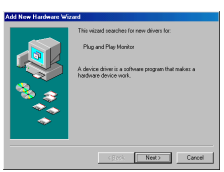
イメージが鮮明で完全に表示されます。

リモートコントロールで PowerPoint スライドを進めることができない

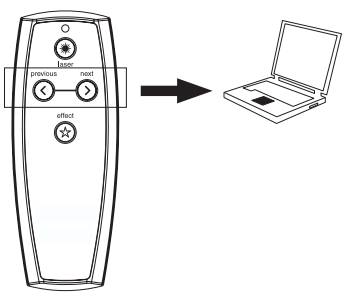


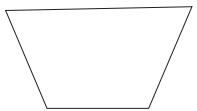
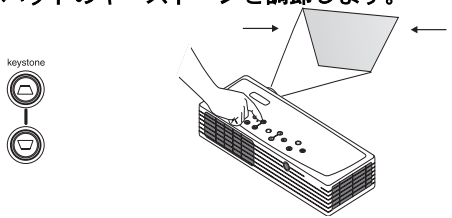
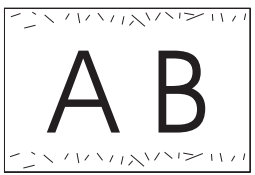
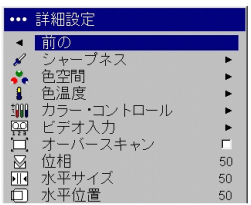
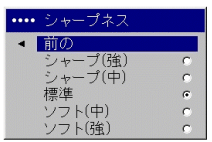
コンピュータケーブルを接続してから（6 ページ）、必要ならば USB ドライバを読み込みます（8 ページ）。
リモートの電池を確認します。

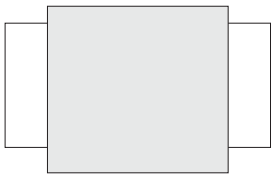
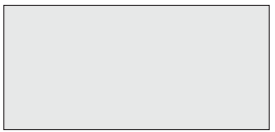
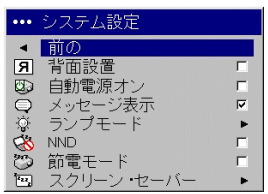
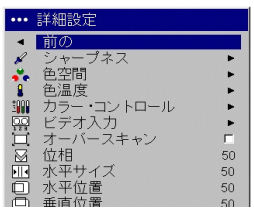


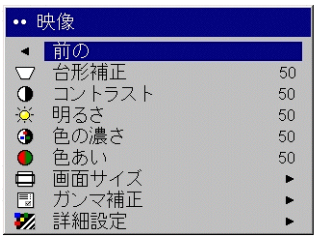
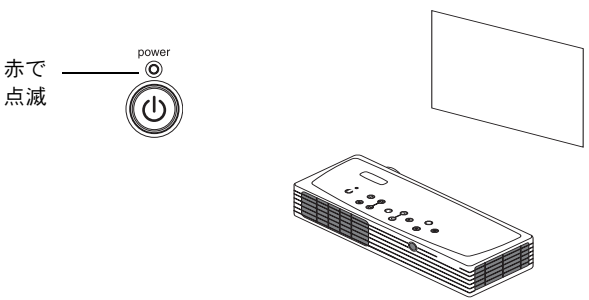
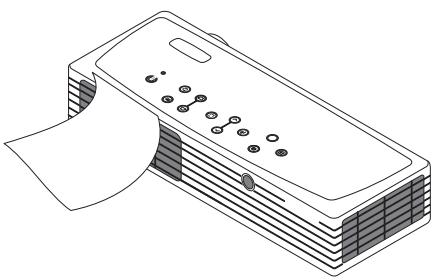
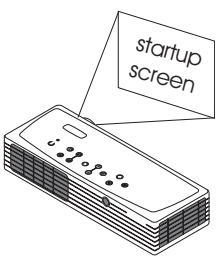


リモートでスライドを進めることができるリモートコントローラについて詳しくは、23 ページを参照してください。

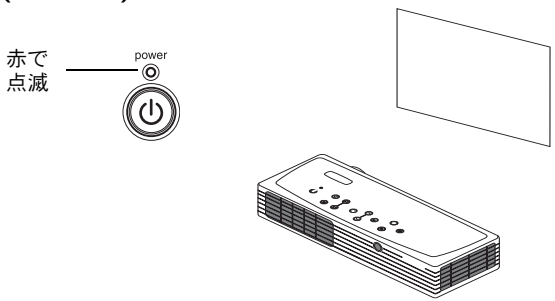


問題	解決法	結果
イメージが正方形ではない 	キーパッドのキーストーンを調節します。 	正方形のイメージ
ビデオイメージの縁が歪む 	[画像] > [上級設定] メニューで [オーバースキャン] をオンにします。 	正しいイメージ
イメージが鮮明でない 	[画像] > [上級設定] メニューで [鮮明度] を調節します。 	正しいイメージ

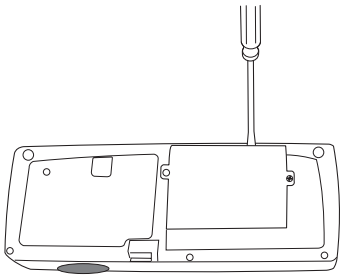
イメージが 16:9 のスクリーンに収まらない 	[画像] > [アスペクト比] メニューでアスペクト比を「16:9」に変更します。 	正しいイメージ 
イメージが左右反対である 	[設定]>[システム設置] メニューで [リア装置] をオフにします。 	正しいイメージ
ビデオ イメージが切れたり、分割されている 	[画像] > [上級設定] メニューで [ビデオ入力] を変更します。 	正しいイメージ

投影された色がソースと一致していない 	[画像] および [上級設定] メニューで、[色温度]、[色空間]、[カラーコントロール]、[明るさ]、[コントラスト] を調節します。また、[色]、[色合い] も調節します (ビデオ入力の場合のみ)。 	正しいイメージ
ランプがオンにならず、LED が赤く点滅する (14 ページ) 	通気口が塞がれていないことを確認してください。プロジェクタを 1 分間冷却させてください。 	プロジェクタの接続を外し、1 分間待機した後で再度接続を行って、電源を入れます。ランプライトが点灯します。 

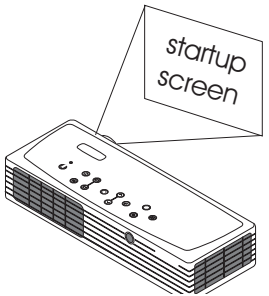
ランプがオンにならず、LED が赤く点滅する (14 ページ)。



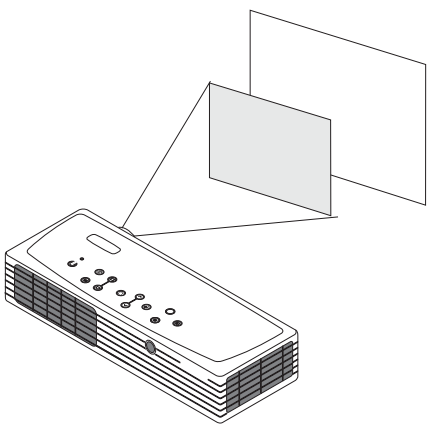
ランプを交換します (35 ページ)。



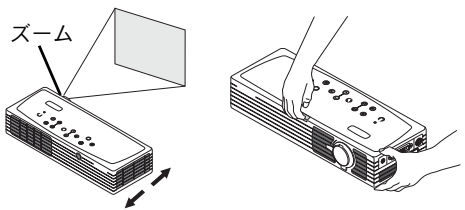
ランプがオンになります。



イメージが画面の中央に表示されない

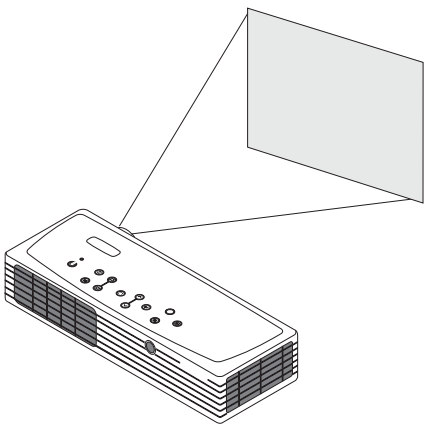


プロジェクタを移動、ズームの調節、高さの調節を行ってください。



[画像] > [上級設定] メニューで水平および垂直位置を調節します。

正しいイメージ



この製品には 2 年間の限定保証が付属しています。代理店から延長期間の保証を購入していただくこともできます。プロジェクタを修理のために返送する場合は、機器を元のパッケージ材を使って梱包するか、専門の梱包業者に依頼して梱包することをお勧めします。

機器の輸送する場合に適切な保護を提供するオプションの ATA 輸送ケースを購入していただくこともできます。機器を返送する場合は、製品の価格に見合う保険をかけるようにしてください。

キーパッドボタンの使用

ほとんどのボタンは他の節で詳しく説明されています。ここでは、その機能の概要を説明します。

power– プロジェクタのオン（7 ページ）とオフ（14 ページ）を切り替えます。

menu – オンスクリーンメニューを開きます（27 ページ）。

select – メニューのオプションを選択します（27 ページ）。

上 / 下方向矢印 – メニューのナビゲートおよび設定の調整を行います (27 ページ)。

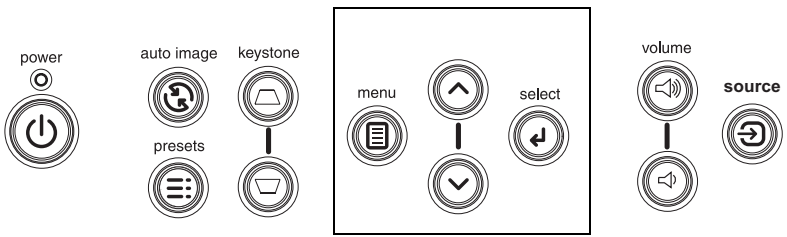
auto image – プロジェクタを信号源にリセットします。

presets – 利用できるモードを切り替えます（29 ページ）。

keystone – イメージを正方形に調節します（10 ページ）。

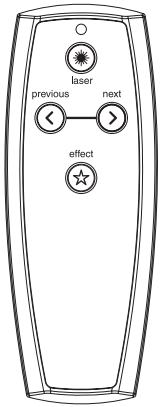
volume – サウンドを調節します（24 ページ）。

source – コンピュータとビデオ入力を切り替えます。



メニューのナビゲーションボタン

リモートコントロールの使い方



リモート コントロールは単 4 電池 2 個とともに出荷されています。電池は、リモートコントロールの背面にあるカバーをスライドさせて簡単に取り付けることができます。電池を挿入する際には、電池の + および - 電極を合わせ収納部に収め、カバーを取り付けてください。

リモートコントロールを使用するには、リモートコントロールを投影画面またはプロジェクタに向けます（コンピュータではなく）。最適な操作範囲は約 9.14m（30 フィート）です。

レーザー ポインタを使用するには、**Laser** ボタンを押しつづけます。ボタンを離すか 2 分間連続して使用すると、レーザーがオフになります。

警告：リモートコントロールの上部から放射されるレーザービームを直視しないでください。

PowerPointでスライドショーモードを使用している場合は、「previous」および「next」ボタンを押してプレゼンテーションをナビゲートできます。コンピュータケーブルの USB コネクタをコンピュータに接続すると、これらのボタンを使用できます。最初に USB コネクタをコンピュータに接続した場合は、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが表示されます。正しい USB ドライバの読み込みについて詳しくは、8 ページを参照してください。

effect ボタンを使うと、フリーズや黒い画面の表示などユーザ定義可能な操作を実行できます（このボタンのプログラムについては、32 ページを参照してください）。

リモートコントロールのトラブルシューティング

- 電池が正しい方向に収納されていることを確認してください。また、電池が切れていないかも確認します。電池が切れていない場合は、ボタンを押すとリモートの上部にある LED が点灯します。
- リモートをコンピュータではなくプロジェクタに向けていることを確認してください。また、プロジェクタがリモートの 9.14m（30 フィート）以内に設置してあることも確認します。
- PowerPoint のスライドを進める場合は、USB ケーブルが接続されていて（6 ページ）、正しいドライバがインストールされている（8 ページ）ことを確認してください。

オーディオの使い方

プロジェクタからのサウンドを再生するには、ソースをプロジェクタのオーディオ入力コネクタに接続します。

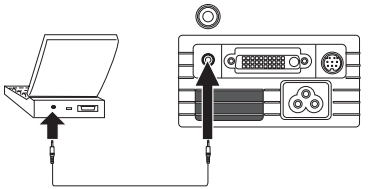
音量を調節するには、キーパッドのボタンを使用してください。

オーディオのトラブルシューティング

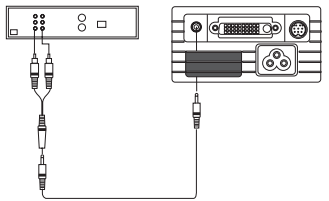
サウンドが再生できない場合は、次のことを確認してください。

- オーディオ ケーブルが接続されている
- 無音がアクティブになっていないことを確認してください（**Effect**キーを使用）。
- 音量が十分な大きさに調整されている キーパッドまたはリモート コントロールの音量ボタンを押します。
- オーディオの信号源を調整します。
- ビデオを再生している場合は、再生機能が一時停止になっていないことを確認します。

オーディオケーブルを接続

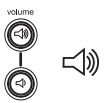


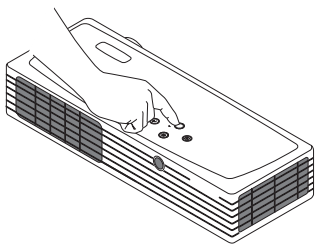
コンピュータ : オーディオケーブル



ビデオ : オーディオケーブルとアダプタ

音量の調節





コンピュータイメージの最適化

コンピュータを正しく接続しコンピュータのイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、27 ページを参照してください。

- [画像] メニューで [キーストーン]、[コントラスト] または [明るさ] を調節します。
- アスペクト比を変更します。アスペクト比は、イメージの幅の高さに対する比です。通常、テレビ画面は 4:3 として知られる 1.33:1 です。HDTV とほとんどの DVD は 16:9 として知られる 1.78:1 です。入力源に合ったオプションを選択します。詳しくは、28 ページを参照してください。
- [上級設定] メニューで [色空間]、[色温度]、[カラーコントロール] を調節します。
- [上級設定] メニューで [相]、[画像幅]、[水平位置]、[垂直位置] を調節します。
- 特定のソース用にイメージを最適化したら、[モード選択] を使ってその設定を保存できます。これにより、設定を後で素早く利用することができます。29 ページを参照してください。

プレゼンテーション機能

プレゼンテーションをより簡単に行うための機能が付属しています。次に概要を示します。詳しくは、27 ページページのメニューセクションを参照してください。

- リモート コントロールの **Effect** キーによりキーにさまざまな機能を割り当てることができます。デフォルトのエフェクトは [インフォメーション] 機能で、プロジェクタと現在のソースに関する情報が表示されます。キーには、[空白]、[無音]、[アスペクト比]、[入力信号]、[自動調整]、[フリーズ]、[ズーム]、[インフォメーション] 機能を割り当てることができます。詳しくは、32 ページを参照してください。
- [フリーズ] エフェクトを使用すると、表示されているイメージをフリーズできます。これは、イメージを画面に表示しないでコンピュータでイメージを修正するような場合に便利です。
- [起動ロゴ] メニューのオプションを使用すると、デフォルトの起動画面を黒、白、青のいずれで表示するかを変更できます。32 ページを参照してください。
- [節電] および [スクリーン セーバー] の 2 つのオプションは、特定の時間内に操作が何も行われなかった場合にプロジェクタを自動的にシャットダウンしたり、黒い画面を表示するためのオプションです。これはランプの寿命を延ばすのに役立ちます。31 ページおよび 32 ページを参照してください。
- ランプの明るさと寿命時間を最適化するために、[ランプモード] オプションを使用することもできます。31 ページを参照してください。

ビデオイメージの最適化

ビデオ デバイスを正しく接続してイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、27 ページを参照してください。

- [画像] メニューで [キーストーン]、[コントラスト]、[明るさ]、[色]、[色合い] を調節します。28 ページを参照してください。
- アスペクト比を変更します。アスペクト比は、イメージの幅の高さに対する比です。通常、テレビ画面は 4:3 として知られる 1.33:1 です。HDTV とほとんどの DVD は 16:9 として知られる 1.78:1 です。入力源に合ったオプションを選択します。28 ページを参照してください。
- [上級設定] メニューで [鮮明度] を選択します。30 ページを参照してください。
- 異なる [色温度] を選択するか、[カラーコントロール] を使って赤、緑、青の強度を個別に調節します。30 ページを参照してください。
- 異なる [ビデオ入力] を選択します。[自動] は受信しているビデオ信号の規格を自動的に判断するオプションです。必要ならば、異なる規格を選択します。30 ページを参照してください。
- ビデオ イメージの周りのノイズを削除するには、[オーバースキャン] をオンにします。30 ページを参照してください。
- 特定のソース用にイメージを最適化したら、[モード選択] を使ってその設定を保存できます。これにより、設定を後で素早く利用することができます。29 ページを参照してください。

プロジェクタのカスタマイズ

特定のセットアップやニーズに合わせてプロジェクタをカスタマイズできます。これらの機能について詳しくは、31 ページ～ 33 ページを参照してください。

- リア装置投影には、**[設定]>[システム設置]** メニューでリア装置モードをオンにします。
- 電源投入時にプロジェクタがアクティブなビデオのソースをどの種類からチェックするかを指定します。
- リモートコントロールでエフェクトキーの機能を指定します。
- プロジェクタのディスプレイメッセージのオンとオフを切り替えます。
- 節電機能をオンにします。
- 空白画面と起動ロゴの色を指定します。
- メニューの言語を指定します。
- ランプモードを指定して、ランプの明るさまたは寿命時間を最適化します。
- コンピュータがスクリーンセーバーモードになるのを防止します。
- アクティブな信号源の設定をモードとして保存します。

メニューの使い方

メニューを開くには、キーパッドの **Menu** ボタンを押します (ボタンを押さない時間が 60 秒以上続くとメニューが自動的に閉じます)。メインメニューが表示されます。矢印ボタンを使って選択を上下し、使用するサブメニューをハイライトしてから、**Select** ボタンを押します。

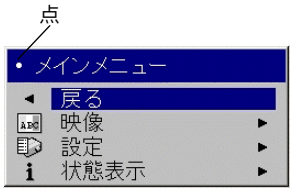
メニュー設定を変更するには、**Select** を押してから、上下矢印ボタンを使って値を調整、ラジオ ボタンを使ってオプションを選択、またはチェック ボックスを使って機能のオンとオフを切り替えます。**Select** を押して変更を適用します。矢印ボタンを使って他の設定にナビゲートします。調整が完了したら [前の] までナビゲートし、**Select**を押して前のメニューに戻ります。[終了]を選択するか**Menu**ボタンを押していつでもメニューを閉じることができます。

メニュー名の前に点が表示されます。この点はメニューのレベルを示し、1 ～ 4 つの点が表示されます。点が 1 つの場合はメインメニュー、点が 4 つの場合はネストされているメニューの最も下位のレベルであることを示しています。

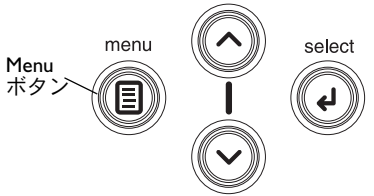
メニューは次のように利用目的によってグループ化されています。

- [画像] メニューではイメージの調整を行います。
- [設定] メニューでは、頻繁には変更しないセットアップ タイプの調整を行います。
- [インフォメーション] メニューは、プロジェクタおよびソースの情報を表示する読み取り専用のメニューです。

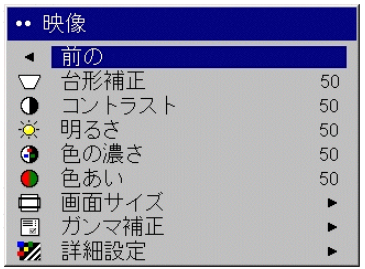
特定のソースを接続しないと表示されないメニュー項目もあります。たとえば、[鮮明度] はビデオ ソース専用のメニューで、コンピュータ ソースを使用しているときは表示されません。利用できない場合は灰色で表示されるメニュー項目もあります。たとえば、イメージがアクティブになるまで [明るさ] は灰色で表示されます。

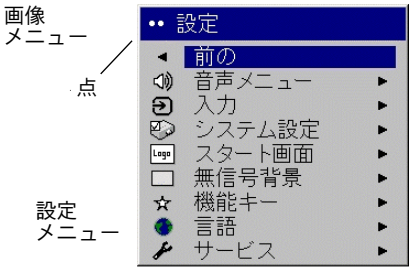


メインメニュー

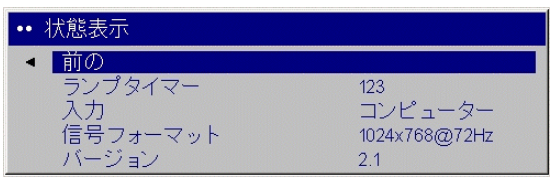


キーパッドのナビゲーション
ボタン





インフォメーションメニュー



[画像] メニュー

次の設定を調整するには、設定をハイライトして **Select** を押し、上下矢印ボタンを使って値を調整してから **Select** を押して変更を適用します。

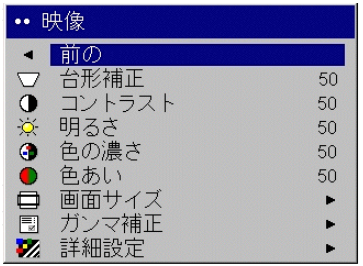
キーストーン : イメージを垂直方向に調整してイメージをより正方形に近づけます。キーパッドからキーストーンを調整することもできます。

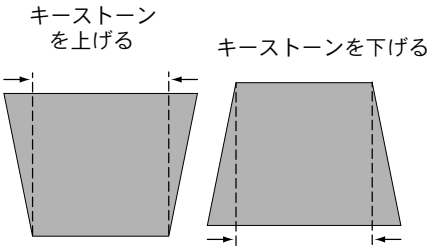
コントラスト : 画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを制御し、イメージの黒と白の量を変更します。

明るさ : イメージの強度を変更します。

色 : (ビデオソースのみ) ビデオ イメージを白黒から完全なカラーに調整します。

色合い : (NTSC ビデオソースのみ) イメージの赤と緑のバランスを調整します。





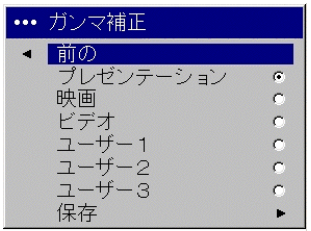
アスペクト比 : アスペクト比は、イメージの幅の高さに対する比です。通常、テレビ画面は 4:3 として知られる 1.33:1 です。HDTV とほとんどの DVD は 16:9 として知られる 1.78:1 です。デフォルトは 4:3 で、表示領域にイメージが収まるように入力イメージのサイズが上下で変更されます。

[原像解像] を選択して、プロジェクタのサイズ変更をしないで入力信号そのままによるイメージを確認します。
拡張ワイドスクリーン DVD を見るには、[16:9] を選択します。

アスペクト比

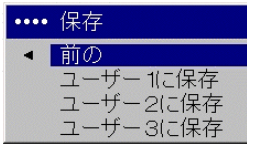
モード選択 : プロジェクタに付属のモード選択は、コンピュータ プレゼンテーション、フィルム イメージ、ビデオ イメージを表示するために最適化されたイメージを表示するためのオプションです。（フィルム入力は、ムービーなど元々フィルムカメラでキャプチャされたものです。ビデオ入力は、テレビ番組やスポーツイベントなどビデオカメラでキャプチャされたものです。）まず最初に使用するモードとしてモード選択を使用し、各信号源の設定をさらにカスタマイズできます。カスタマイズした設定は、各ソースのモード選択に保存されます。工場出荷時の設定に戻すには、**[設定]> [サービス]** メニューで [工場出荷時リセット] を選択します。

さらに、3 つのユーザー定義可能なモード選択があります。現在の入力源のモードを設定するには、画像を調整してから [モード選択] メニューで [設定の保存] を選択してから [ユーザ 1 (2 または 3) の保存] を選択します。これらの設定は、該当するユーザモードを選択して呼び出すことができます。



モード選択

設定を保存



[上級設定] メニュー

鮮明度 : (ビデオソースのみ) ビデオイメージの縁の明瞭さを変更します。鮮明度設定を選択します。

色空間 : (コンピュータソースのみ) このオプションにより、ビデオ入力用に特別に調整された色空間を選択できます。[自動] が選択されている場合は、プロジェクタが規格を自動的に判断します。異なる設定を選択するには、[自動] をオフにしてから [RGB]、[REC709]、[REC601] のいずれかを選択します。

色温度 : 色の強度を変更します。リストされている設定を選択します。

カラーコントロール : 各色を個別に修正できます。色を選択して **Select** を押してから、矢印を使って値を調節します。

ビデオ入力 : (ビデオソースのみ) [自動] に設定されている場合は、プロジェクタが受信する入力信号を基にビデオ規格が自動的に判断されます。(ビデオ規格オプションは、お使いの地域によって異なります。) プロジェクタで正しいビデオ企画を検出できない場合は、色が正しく表示されない、またはイメージが切れるなどの問題が発生する場合があります。この場合は、[ビデオ規格] メニューから NTSC、PAL、SECAM のいずれかを選択してビデオ規格を手動で選択します。

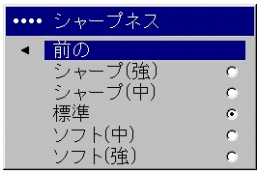
オーバースキャン : (ビデオソースのみ) ビデオイメージの周りにあるノイズを取り除きます。

次の 4 つのオプションは、コンピュータソースのみで利用できます。

相 : コンピュータ信号源の水平相を調整します。

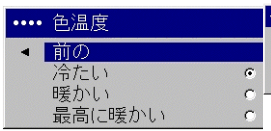
画像幅 : コンピュータ信号源の垂直走査を調整します。

水平 / 垂直位置 : コンピュータ信号源の位置を調整します。

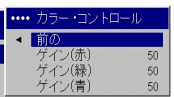


鮮明度

色空間



色温度



カラーコントロール

ビデオ入力

[設定] メニュー

オーディオ : 音量を調節します。キーパッドから音量を調整することもできます。

信号源 : このオプションにより、オプションの統合リモート コントロールとして特定の信号源キーに特定の入力を割り当てることができます。また、起動デフォルト信号源を選択したり、自動信号選択のオンとオフを切り替えることもできます。[自動信号選択] が選択されていない場合は、プロジェクタは [起動デフォルト信号源] で選択されている信号源をデフォルトとして使用します。信号源が見つからなかった場合は、空白の画面が表示されます。[自動信号選択] が選択されている場合は、[起動デフォルト信号源] が起動時にプロジェクタがデフォルトとして使用する信号源を判断します。信号が存在しない場合は、信号源が見つかるか電源がオフになるまでプロジェクタが信号をチェックし続けます。

起動デフォルト信号源 : 電源投入時にプロジェクタがアクティブなビデオのソースをどの種類（コンピュータまたはビデオ）からチェックするかを指定します。

[システム] メニュー

リア装置 : 透明なスクリーンの後ろから投影できるようにイメージを逆にします。

自動電源 : [自動電源] を選択すると、電源をオンにしたがアクティブなソースが見つからないために電源がオフになったときにプロジェクタをオンにすることができます。

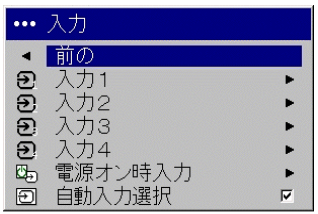
メッセージ表示 : 画面の左下隅にインフォメーション メッセージを表示します（「検索中」や「消音」など）。

ランプモード : 特定のニーズに合わせてランプモードを最適化できます。デフォルトは [明るい] で、ランプの明るさを最大にします。[長い] を選択するとランプ時間を最大限に延長し、ファンのノイズを最小限に抑えることができます。[標準] を選択すると明るさ、ランプ時間、ファンのノイズのバランスを取った設定を使用できます。

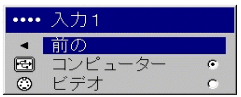
NND (Notebook No-Doze) : ノートブックコンピュータがスクリーンセーバーモードに入るのを防止します（USB コネクタが接続されている場合のみの機能）。

節電 : 信号が 20 分間検出されなかった場合にランプを自動的にオフにします。さらに 10 分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクタの電源が切れます。プロジェクタの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。

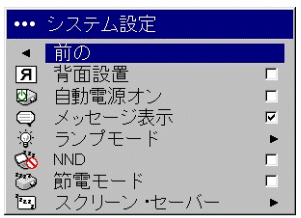
オーディオ



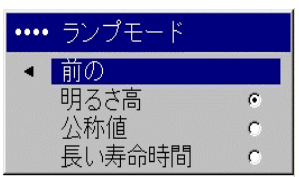
信号源



起動デフォルト信号源



[システム] メニュー



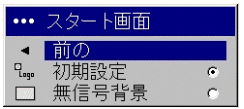
ランプモード

スクリーンセーバー : 事前に指定された分数が経った後も信号が検出されなかった場合は、黒を使って空白の画面が自動的に表示されます（デフォルトでは 30 分）。アクティブなソースが検出されるか、リモートコントロールかキーパッドのボタンを押すとイメージが再度表示されます。[節電] が使用可能なときは [スクリーン セーバー] は無効になります。

起動ロゴ : 起動時および信号源が検出されなかった場合にデフォルトの画面の代わりに空白の黒、白、または青の画面を表示します。

空白画像 : アクティブなソースがない場合に、表示する画面の色を指定します。

スクリーン セーバー



起動ロゴ

空白画像

エフェクトキー : 機能を簡単に素早く使用できるように、リモートコントロールで **Effect** ボタンに異なるキーを割り当てることができます。一度に1つのエフェクトのみを使用可能にできます。機能をハイライトして **Select** を押して異なる機能を選択します。

エフェクトキー

空白 : 空白の画面を表示します。

無音 : サウンドをオフにします。

アスペクト比 : イメージの幅の高さに対する比を設定します。

信号源 : 利用できる信号源を切り替えます。

イメージリセット : コンピュータの信号源を再度取得します。

フリーズ : 投影されているイメージをフリーズします。

ズーム : スクリーンの一部を拡大できます。この機能は、マウスボタンとカーソルの制御を行うオプションのリモートコントロールを購入していただいた場合にのみ動作します。ズーム エフェクトを使用するには、**Effect** を押してからリモート コントロールのマウスの右ボタンを押してイメージを拡大します。左ボタンを使用すると、イメージが縮小されます。イメージの異なる部分を表示するには、カーソル コントロールを使ってパンすることもできます（イメージが拡大されている場合のみ）。元のサイズに戻ってズームをキャンセルするには、**Effect** ボタンを再度押します。

インフォメーション : デフォルトのエフェクトです。これは [インフォメーション] メニューを表示します。

言語 : メニューおよびメッセージを画面に表示する言語を選択できます。

言語

サービス : これらの機能を使用するには、機能を選択して **Select** を押します。

工場出荷時リセット : 確認のダイアログ ボックスを表示した後、すべての設定（ランプ時間を除く）をデフォルト値に戻します。

ランプのリセット : 確認のダイアログボックスを表示してから、[インフォメーション] メニューのランプ時間カウンタをゼロにリセットします。これはランプを交換した場合にだけ行ってください。

サービスコード : 認定されたサービス担当者のみが利用するオプションです。

サービスメニュー

保守

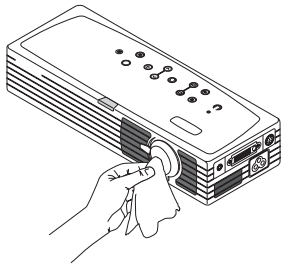
レンズのクリーニング

1 研磨性でないカメラ レンズ用のクリーナーと柔らかい乾いた布を使ってクリーニングします。

クリーナーを使いすぎないように注意してください。クリーナーを直接レンズに付けないでください。研磨性のクリーナー、溶剤、強い化学クリーナーはレンズに傷を付けることがあります。

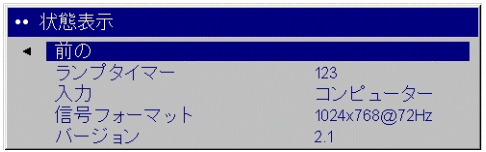
2 レンズは、円形の動きを使って軽くクリーニングします。プロジェクタを使用しない場合は、レンズ キャップを装着してください。

柔らかい乾いた布と非研磨のクリーナーでレンズをクリーニングする



投影ランプの交換

[インフォメーション] メニューの [ランプ時間] タイマーは、ランプが使用された時間数をカウントします。ランプ寿命時間の指定終了時間まで 50 時間になると、「ランプを交換してください。」というメッセージが起動時に短時間表示されます。寿命時間まであと 0 時間になると、ランプが点灯しなくなります。ランプは代理店からご注文いただけます。詳しくは、37 ページの「アクセサリ」を参照してください。



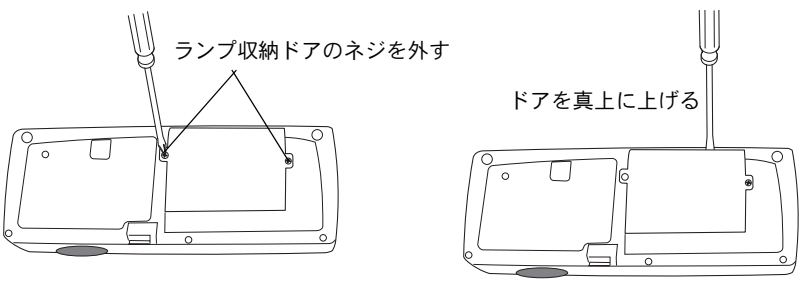
インフォメーションメニュー

1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルを外します。

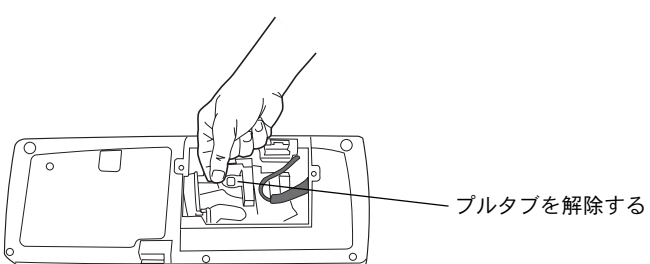
2 60 分プロジェクタを放置して、完全に冷えるまで待ってください。

3 プロジェクタを上下逆さまにしてランプ収納ドアにある 2 つのネジを外します。ドアを真上に上げて内部にある電源割り込みコネクタを外し（ドアの裏側にあります）、ランプ収納ドアを外します。ドアを真上に上げることに注意してください。斜めに動かすと、電源割り込みコネクタに損傷を与える場合があります。

注意 : ランプ収納ドアを取り付けていない場合は、プロジェクタの電源はオンになりません。

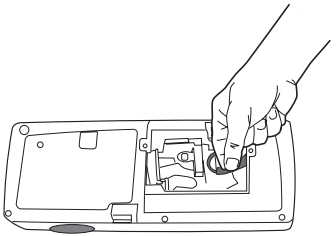


4 ランプモジュールにあるタブを引き、ロックを解除します。



5 コネクタをしっかりと引きながらランプケーブルコネクタタブを指ではさみ、ロックを解除して、ランプを外します。
警告:

- 火傷を防ぐため、ランプの交換を行う前にプロジェクタの電源を切ってから 60 分間放置してください。
- ランプモジュールを落とさないでください。 ガラスが割れて怪我を招くことがあります。
- ガラスのランプスクリーンに触れないでください。 指紋が付くと投影の鮮明度が落ちることがあります。
- ランプを収納部から外す時は十分に注意してください。稀にランプが破裂して、小さな破片が飛び散ることがあります。ランプモジュールはこのような破片が飛び散らないようにデザインされていますが、ランプの取り外しには十分注意してください。



ランプケーブルを外す

6 注意深くランプモジュールを取り外します。 モジュールの終端にあるレンズには、ランプ収納文の低部にあるスロットで接続するタブが付いています。このタブをスロットからタブが外れるまで引きます。ランプは環境的に正しい方法で破棄してください。

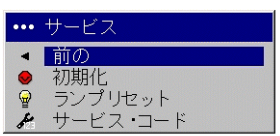
7 新しいランプモジュールを取り付けます。新しいモジュールを穴に真っ直ぐにスライドさせて、スロットにタブを合わせてからタブを押して接続します。

8 ランプモジュールを押しながらプルタブでロックします。

9 ランプケーブルを差し込みます。

10 ドアの背面にあるコネクタをプロジェクタに合わせ、2 つのランプ収納ドアのネジを固定してランプ収納ドアを取り付けます。

11 電源コードを差し込んで **Power** ボタンを押し、プロジェクタの電源をオンにします。プロジェクタの 2 つの **Volume** キーを同時に 10 秒間押し続けてランプ時間をリセットすることもできます。この時点で LED が緑に点灯し、プロジェクタの電源をオンにできるようになります。**[設定]>[サービス]** メニューから **[ランプのリセット]** を選択して、ランプタイマーをリセットすることもできます。



[サービス] メニューでランプ時間をリセットする

付録

アクセサリ

標準アクセサリ（プロジェクタに付属）	部品番号
保護スリーブ	110-0694-xx
配送ボックス（梱包材を含む）	110-0696-xx
コンピュータケーブル、2 m（6.6 フィート）	SP-DVI-A
S- ビデオケーブル、1.8 m（6 フィート）	210-0125-xx
S- ビデオ -RCA アダプタ	515-0027-xx
オーディオケーブル、1.8 m（6 フィート）	210-0118-xx
オーディオケーブルアダプタ	210-0177-xx
電源ケーブル（米国用）	210-0255-xx
電源ケーブル（ヨーロッパ用）	210-0254-xx
プレゼンテーション用リモート	590-0562-xx
投影ランプモジュール （プロジェクタに収納済み）	SP-LAMP-013
クイックセットアップカード	009-0791-xx
CD に収録されたユーザーズガイド	
テクニカルサポート連絡用カード	009-0658-xx
安全カード	009-0659-xx
カラーコードされたケーブルタイ、3 セット	SP-CABLETIES
SCART アダプタ	301130B

オプションのアクセサリ	部品番号
ATA 輸送ケース	CA-ATA-016
ソフト携帯ケース	CA-C220
デジタルコンピュータケーブル	SP-DVI-D
50 インチスクリーン（ポータブル）	A650
60 インチスクリーン（ポータブル）	HW-DLXSCRN
84 インチ壁設置 / 天井吊りスクリーン	HW-WALLSCR84
ポータブルプロジェクタスタンド	SP-STND
ランプモジュールの交換部品	SP-LAMP-013
MindPath RF PocketPoint リモート	HW-RF-POCKTPNT
コンダクタ + リモート	HW-CONDUCTOR +
ワイヤレス接続モジュール	LP-LITESHOW
ワイヤレス接続モジュール + PC カード	LP-LITESHOWCARD

注意 : 認定されているアクセサリのみを使用してください。

赤い LED とプロジェクタのエラー

プロジェクタが正しく動作せず、LED が赤色に点滅する場合は、**表 2** を参照して可能性のある原因を調べてください。点滅サイクルの間隔は 2 秒です。赤い LED のエラーコードについて詳しくは、InFocus のウェブサイトを参照してください。連絡先については、裏表紙の内側をご覧ください。

表 2:

赤い LED	説明
1 回の点滅	ランプが 5 回の試行後も点灯しませんでした。ランプおよびランプ収納部ドアがしっかりと固定されているかどうかを確認してください。
2 回の点滅	ランプの使用時間がランプの寿命時間を超えました。ランプを交換してランプ時間カウンターをリセットしてください。
3 回の点滅	プロジェクタがランプをシャットダウンしました。プロジェクタの電源を切り 1 分間待機してから、プロジェクタを再度オンにします。ランプを交換してください。ランプを交換しても問題が解決されない場合は、修理についてテクニカルサポートにお問い合わせください。
4 回の点滅	ファンが動作していません。テクニカルサポートに修理を依頼してください。
5 回の点滅	プロジェクタが過熱しています。通気口が塞がれていないことを確認してください。通気口から物体を取り除いても問題が解決されない場合は、修理についてテクニカルサポートにお問い合わせください。
赤に点灯	不明なエラー : テクニカルサポートにお問い合わせください。

投影イメージサイズ

表 3:
画面サイズに対する画面への距離範囲

スクリーンサイズ (斜め、インチ/m)	イメージの幅 (インチ /m)	スクリーンからの距離 最大距離 (フィート /m)	最小距離 (フィート /m)
40/1	32/0.8	5.6/1.7	4.8/1.5
50/1.3	40/1	6.9/2.1	6/1.8
60/1.5	48/1.2	8.2/2.5	7.2/2.2
100/2.5	80/2	13.8/4.2	12.1/3.7

注意 : InFocus のウェブサイトでは、インタラクティブなイメージサイズ計算ツールをご利用いただけます。

M1

InFocus Corporation
27700B SW Parkway Avenue
Wilsonville, Oregon 97070-9215
1-800-294-6400 • 503-685-8888
Fax: 503-685-8887
http://www.infocus.com

In Europe:
InFocus International B.V.
Strawinskylaan 585
1077 XX Amsterdam,The Netherlands
Phone: +31 20 579 2000
Fax: +31 20 579 2999

In Asia:
238A Thomson Road
#18-01/04 Novena Square
Singapore 307684
Telephone: (65) 6334-9005
Fax: (65) 6333-4525

010-0542-00

ASK Proxima®

InFocus® CORPORATION